

平成30年度 上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第5回 就業支援 部会	参加者数	32人	会場	伊那市福祉まちづくりセンター 2階大会議室
	日時	平成31年2月27日(金) 13:30 ~ 15:30				
主 テ ー マ	1 伊那養護学校と就労移行支援事業所との連携について 2 質疑応答 3 まとめ					
主 な 意 見 な ど	<p>1)について</p> <p>○「就労アセスメント」について(伊那養護学校校長 片桐先生より挨拶)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在全校生徒228名、高等部111名、内39名が卒業予定。上伊那圏域は地域の皆様にご協力いただくことが多く、全県からみても支えている地域性が見られる。特色としては県の技能検定を清掃部門では23名が参加し、そういう事を通して「働く意欲」に取り組んでいる。高等部3年生の早い段階で就労アセスメントをすることにより、その子が取り組むべき方向性が分かって取り組む事が良いのではないかと。そんな状況からアセスメントのあり方の見直しの検討をお願いしたい。 <p>○圏域ルール見直しについて(伊那養護学校 福沢先生より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここ3年10名以上の生徒が一般就労している。今年度は13名が就労アセスメントを実施、夏休みから相談支援員を探した。来年度は44名が3年生。10名以上が就労アセスメントを利用する予定。早い段階からアセスメントを実施し、課題や強みを知りたい。又3年生の実習は計5回予定。たてこんでいることと、B型事業所を利用する為のアセスメントなので、就労するための資料として活かす事ができない。 <p>○課題を受けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業への進路の為にアセスメントが活かされていない。「準アセスメント」という支給決定を伴わない形でアセスメントを取る方法はどうか。この「準アセスメント」という試みは学校からのお願いであり、支給決定を伴わず、報酬はない。 <p>○圏域ルール見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現法のルールにのっとると、難しいと思われる。課題提起と、運営委員会や市町村の許可も必要と考えられる。また、該当となる生徒が18歳未満であり、児童の相談支援専門員にアセスメントを計画してもらわないといけない。児童の専門員数が少ない為難しいのではないだろうか。 ・「準アセスメント」については、適切な評価と伸びしろをつかむことにより、進路への役立てになると考えられる。早期就労自立、就労移行としての本来の取り組みもスムーズになる。 ・実施にあたってはいくつか検討しなければいけないことがある。検討委員会を立ち上げて、アセスメント様式の統一、解釈と統一性をすり合わせる、実施後の振り返りを確実にを行う事をあげたい <p>2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用するための体験も報酬があるわけではないし、事業所を知ってもらいたい現状もあるので、事業所を知るためには良い方法と感じた。統一した評価のための検討委員会も良いと思った。 ・「準アセスメント」1年生からやるということは、1年から3年で変わっていくことが多くあり良いと思った。 ・「就労アセスメント」は就労継続B型事業所に通う為のアセスメントになっていて本来の目的と異なっている。 ・3年の土壇場で合否が決まる後で困ることがある。なるべく前倒してある程度の方向性を見出してもらえたら。支援の底上げをするために必要なことだと思う。 ・入社した社員さんが「こういうこともできるんだ」ということを保護者の方が理解していないことが過去にあった。入社して1~2年お付き合いしていると、これもできるんだと発見することがある。背景には「これをやっちゃだめ」と言われ続けてきた経過があったかなということを知った。いかに育成するのか、企業には技能マップを作ってどう育成するのかをみる取り組みをしている。 ・生徒さんがどの場所にいると輝けるのか？が早めにわかると良い。 ・企業側として学校からの実習が6月と11月の2回だけ。この機会だけで多くの方に会社を知ってもらうことは難しい。他の養護学校も時期が限られている。できれば実習時期の設定も幅を持って動いていただけるとありがたい。 <p>・伊那養護学校 福沢先生より 他の時期として「特別実習」という形でお願いすることができる。また、いろいろな方法でお願いをしていきたい。</p>					
ま と め	それぞれのご意見を運営委員会にあげていきたい。メリット・デメリット、クリアしていかなければいけない課題があるので検討委員会を立ち上げながら進めていきたい。					